

これが「にっぽんの温泉」

第21回 にっぽんの温泉100選

順位	昨年	温泉名	所在地	得票	順位	昨年	温泉名	所在地	得票
1	1	草津	群馬	1,148	51	60	湯村	兵庫	260
2	2	由布院	大分	1,012	52	49	玉川	秋田	256
3	4	黒川	熊本	1,001	53	56	花巻	岩手	248
4	3	登別	北海道	845	54	64	皆生	鳥取	237
5	5	指宿	鹿児島	804	55	67	湯河原	神奈川	231
6	10	有馬	兵庫	777	56	59	別所	長野	225
7	6	道後	愛媛	741	57	61	稲取	静岡	210
8	7	別府	大分	720	58	62	瀬波	新潟	209
9	8	和倉	石川	709	59	65	芦原	福井	205
10	11	城崎	兵庫	661	60	54	知床・ウトロ	北海道	202
11	9	下呂	岐阜	640	61	57	こんぴら	香川	187
12	13	雲仙	長崎	633	62	63	勝浦	和歌山	179
13	14	鬼怒川・川治	栃木	628	63	92	強羅	神奈川	175
14	12	奥飛騨温泉郷	岐阜	608	64	69	あつみ	山形	173
15	17	箱根湯本	神奈川	602	65	66	祖谷	徳島	172
16	16	乳頭温泉郷	秋田	595	66	96	宇奈月	富山	169
17	20	伊東	静岡	582	67	80	舘山寺	静岡	164
18	21	堂ヶ島	静岡	570			観音	静岡	164
19	29	嬉野	佐賀	559	69	73	黄金崎不老ふ死	青森	159
20	24	四万	群馬	532	70	75	層雲峡	北海道	152
21	28	十勝川	北海道	524	71	82	下田	静岡	150
22	23	塩原	栃木	512	72	45	西山	山梨	146
23	19	山代	石川	507	73	84	妙見	鹿児島	143
24	25	湯の川	北海道	488	74	89	下賀茂	静岡	138
25	18	伊香保	群馬	473			平山	熊本	138
26	36	修善寺	静岡	460	76	92	扉	長野	137
27	26	玉造	島根	455	77		法師	群馬	135
28	22	秋保	宮城	451	78	80	作並	宮城	124
29	30	白骨	長野	447	79		阿蘇	熊本	118
30	33	霧島	鹿児島	441	80	79	母畑	福島	107
31	34	三朝	鳥取	438		91	長湯	大分	107
32	31	昼神	長野	435	82	58	高湯	福島	103
33	38	白浜	和歌山	422	83	27	石和	山梨	100
34	32	月岡	新潟	419	84		那須	栃木	95
35	35	阿寒湖	北海道	417	85	77	湯田	山口	93
36	41	湯田中	長野	403	86	68	日光湯元	栃木	90
37	37	蔵王	山形	392	87	84	鷲宿	岩手	86
38	44	山中	石川	380			古湯	佐賀	86
39	46	熱海	静岡	378	89	72	かみのやま	山形	82
40	39	鳴子	宮城	373		74	北川	静岡	82
41	48	長門湯本	山口	360	91		寸又峡	静岡	77
42	42	川湯	北海道	346	92		熱川	静岡	74
43	43	湯西川	栃木	339	93		九重	大分	71
44	15	高山	岐阜	324	94	87	水上	群馬	70
45	53	定山溪	北海道	312	95	88	榊原	三重	68
46	51	万座	群馬	295			杖立	熊本	68
47	47	酸ヶ湯	青森	287	97		天ヶ瀬	大分	63
48	40	銀山	山形	279	98	86	上諏訪	長野	61
49	50	洞爺湖	北海道	272	99	82	蔦	青森	55
50	55	野沢	長野	265		71	龍神	和歌山	55

旅行会社の投票で決まる人気ランキング

草津温泉が5年連続のトップに輝いた第21回「にっぽんの温泉100選」(主催「観光経済新聞社」)。今回は特に上位で大きな変動がなかったとはいえ、時勢の急変に敏感な旅行会社によって選ばれる温泉地ランキングだけに、活気のある温泉地は着実に順位を上げている。ここでは11位以下の温泉地にスポットを当て、その順位の上昇・下降を見ていく。

ベスト10以外の主な動き

11位から30位までは、19位の嬉野温泉(佐賀県)と26位の修善寺温泉(静岡県)が前回の29位、36位からそれぞれ10ランク上昇した。十勝川温泉(北海道)も28位から7ランク上がって21位に着いた。この嬉野・十勝川、修善寺が今回のランキングで最も勢いのあった温泉地と言っていこう。

一方、伊香保温泉(群馬県)は前回18位から今回25位へと7ランク、秋保温泉(宮城県)は22位から28位へと6ランク、それぞれ下降した。共に名のある温泉地であり、今後の奮起に期待したい。

31位から50位までで5ランク以上の変動は、上昇が8温泉、下降が1温泉あった。最も伸びが大きかったのは、定山溪温泉(北海道)で、前回の53位から

(和歌山県)、41位から36位の湯田中(長野県)、44位から38位の山中温泉(石川県)、46位から39位の熱海温泉(静岡県)、48位から41位の長門湯本温泉(山口県)、51位から46位の万座温泉(群馬県)、55位から50位の野沢温泉(長野県)だった。

高山温泉(岐阜県)は、前回の15位から今回44位とおよそ30ランクの急下降。ただし、前回は30ランク近く上昇、際立つのは、前回の27位から今回83位へと急下降した石和温泉だ。

が前々回の40位から急上昇したことを考えれば、納得できる動きと言えなくもない。

50位から100位までの主な動きを取り上げると、前回の92位から今回63位の強羅温泉(神奈川県)、96位から66位の宇奈月温泉(富山県)、ランク外から67位の観音温泉(静岡県)が30ランク近く上昇、際立つのは、前回の27位から今回83位へと急下降した石和温泉だ。



草津温泉の湯畑の足湯



湯布院温泉の名物、述馬車



黒川温泉街の風景

投票ハガキを配布した主な旅行会社(順不同)

JTBグループ各社、近畿日本ツーリスト、ツーリストサービス、日本旅行グループ各社、トップツアー、タビックスジャパン、クラブツーリズム、読売旅行、東武トラベル、JALグループ各社、ANAセールス、スカイパックツアーズ、名鉄観光サービス、京王観光、農協観光、阪急交通社、日本通運、日新航空サービス、ビッグホリデー、HIS、阪神航空、沖縄ツーリスト、小田急トラベル、東日観光、京阪交通社、フジトラベルサービス、日立トラベルビューロー、三交旅行、トラベル日本、南海国際旅行、京成トラベルサービス、西鉄旅行、NOE、内外航空サービス、エムオーツーリスト、JR北海道、JR東日本、JR東海、JR東海ツアーズ、JR西日本、JR四国、JR九州、阪神電鉄、近鉄、南海電鉄、はとバス、楽天トラベル、楽天ANAトラベルオンライン、楽天バスサービス、じゃらん、一休、ヤフートラベル、たびゲーター、ベストリザーブ、ゆこゆこ、旅行計画、タビータ、トラベルコちゃん、ぐるなびトラベル、予約宿名人、ヨヤキュードットコム、マル得ホテル予約、ビューキャンドットコム、たびえるネット、エクスぺディア・ジャパンなど。

にっぽんの温泉100選